

2006年5月吉日

お客様各位

株式会社 リコー

「RidocDocumentSystem メール添付ファイルに関する脆弱性」対策について

【対象製品について】

RidocDocumentRouter シリーズ
RidocDocumentRouterPro シリーズ

【概要】

RidocDocumentRouter および RidocDocumentRouterPro が実装している機能に関連して、ある条件のファイル名称をもつ添付ファイルが付与されたメールを処理した際、不正なディレクトリパスに添付ファイルが保存される。

【対象機能】

RidocDocumentRouterV3 / RouterProV2
・メール配信(入力)機能
・SMTP メール送信機能の不達メール引き取り処理

RidocDocumentRouterV2 / RouterProV1
・SMTP メール送信機能の不達メール引き取り処理

【影響】

悪意のあるユーザーが、ある条件に合致する名称のファイルをメールに添付し送信した場合、対象機能のメール回収処理(POP3 受信)によって不正なディレクトリパスに添付ファイルが保存され、既存のファイルが上書き・破壊されるなどの可能性があります。

【回避策】

下記対策バージョンの適用、もしくは、対象機能の利用停止をお願いいたします。

【対策バージョン】

対象製品	対策バージョン	リリース日
Ridoc Document Router V2	V2.3.1.0	2006/05
Ridoc Document Router V3	V3.2.0.0	2006/02
Ridoc Document Router Pro V1	V1.3.1.0	2006/05
Ridoc Document Router Pro V2	V2.2.0.0	2006/02

対策バージョンについては既にリリース済みです。

【対策バージョンの入手方法】

弊社 Web サイト(http://www.ricoh.co.jp/ridoc_ds/rds/download/)よりダウンロードください。

以上